

今年度より、1学年の教科「商業」科目「ビジネス基礎」では、SDGsの学習を年間計画に組み入れました。そのため、1学年全生徒に「未来の授業 私たちのSDGs探求BOOK」をテキストとして購入してもらいました。

本校では、ビジネスを学ぶ上で、商売のお店ことだけではなく、また、お金儲けのビジネスではなく、みんなのための幸せのために活動する組織のことを学ぶためにNPO/NGOを学んでいます。そして、NPO/NGOを学習した後の10月下旬から、テキストを活用しながら「SDGsの視点からNPO/NGOを学習しよう」というテーマで5~6時間の授業展開をしました。

11月上旬にテキストを監修された東京都市大学大学院 環境情報学研究科 佐藤真久教授の講演を聴いたことで、生徒たちは積極的に授業へ取り組むことができていました。

下の写真は、小单元名「日本の課題を考える」で、自分が考える2020年日本のSDGs達成度状況を高→低の順番を考え、17の目標を切り取り貼付け、自分が解決したい課題をひとつ選び左下に貼付けたものです。生徒たちは自分が作ったグラフと、2020年6月、持続可能な開発ソリューション・ネットワーク（SDSN）が、SDGsの達成度を調査したレポート「持続可能な開発報告書2020（Sustainable Development Report）」のグラフと比べ、日本の社会課題の現状をはじめ、SDGsのそれぞれの17の目標について理解することができました。ちなみに、2020年時点の世界のSDGs達成度ランキングで日本は17位でした。

